

調査レポート

# コロナ禍における行動変化と 投資状況について

—概要編—

2021年6月

MUFG資産形成研究所

三菱UFJフィナンシャル・グループ

資料作成日：2021年6月9日



# 目次

調査概要	.....	P.2
はじめに	.....	P.3
レポートサマリー	.....	P.4
<b><u>コロナ禍における行動変化と投資状況について(概要編)</u></b>		
1. コロナ禍における行動変化	.....	P.5
2. コロナ禍における収入の変化と投資状況	.....	P.11

# 調査概要

- (1) 調査名： 金融リテラシー1万人調査
- (2) 調査方法： リサーチ会社を利用したWEBアンケート
- (3) 調査期間： 2021年2月19日（金）～2月21日（日）
- (4) 調査対象： 企業勤務者8,500名(企業規模300人以上の会社)および、  
公務員1,000名、専業主婦・主夫500名の合計10,000人を対象  
※ 企業勤務者(8,500人)の年代(30歳代以下・40歳代・50歳代以上)および男女の構成比は、総務省「就業構造基本調査」(平成29年)における正規職員・従業員300人以上の企業と同分布となるよう割付。
- (5) 本調査設問数： 36問 ※本レポートでは、コロナ禍における行動および投資に関する設問を中心に分析

<男女別>	男性		女性		合計
企業勤務者	6,512人	76.6%	1,988人	23.4%	8,500人
公務員	828人	82.8%	172人	17.2%	1,000人
専業主婦・主夫	16人	3.2%	484人	96.8%	500人
合計	7,356人	73.6%	2,644人	26.4%	10,000人

## コロナ禍における行動変化と投資状況について

- 当研究所では、毎年定期的に、金融リテラシーの調査を目的としたアンケートを1万人に対して実施している。調査は、金融リテラシーの変化を継続的に捉えるための定型設問と、その年の調査テーマを分析するためのテーマ設問で構成している。
- 2019年末以降、新型コロナウイルスの感染拡大による活動自粛をはじめとする感染拡大防止措置の長期化に伴い、社会・経済に広範な影響が生じている(以下、コロナ禍)。そこで今回の調査では、コロナ禍による人々の行動や投資状況の変化を捉えるためのテーマ設問を設けた。
- 本レポートでは、企業勤務者、公務員、専業主婦・主夫の職業による傾向の差を調査データより紹介する。なお、コロナ禍による行動や投資の変化は、若年層程大きい傾向が見られた。年代別の分析については、「企業勤務者・年代別分析編」のレポートをご参照いただくと幸いである。

## 1. コロナ禍における行動変化

- ▶ 生活時間の使い方の変化を見ると、“家事”は増加した一方で、“身の回りの用事・食事”や“買い物”、企業勤務者における“通勤・移動時間”は減少した。〈6、7頁〉
- ▶ 余暇時間の使い方については、スポーツ観戦や旅行等、外出が必要な活動が減少した一方で、家族団らんやTV・WEBサイト・SNS等のメディアに触れる機会、読書・音楽鑑賞等、外出不要な活動に充てる時間が増加。企業勤務者については、自己啓発や資産運用等に充てる時間が増加した傾向も見られた。〈8、9頁〉

## 2. コロナ禍における収入の変化と投資状況

- ▶ コロナ禍により世帯の収入が減少した割合は2～3割。〈12頁〉
- ▶ 経済面・金銭面の不安は7割前後の人が、雇用面の不安は公務員以外では過半数が感じているとの結果が確認できた。〈13頁〉
- ▶ 投資検討あるいは実施の状況は、職業により傾向に差がある(投資を実施している人の割合は、企業勤務者55%、公務員40%、専業主婦・主夫24%)が、投資検討あるいは実施のきっかけとして“コロナ禍”を挙げる人の割合は、1割前後存在する。〈14、15頁〉

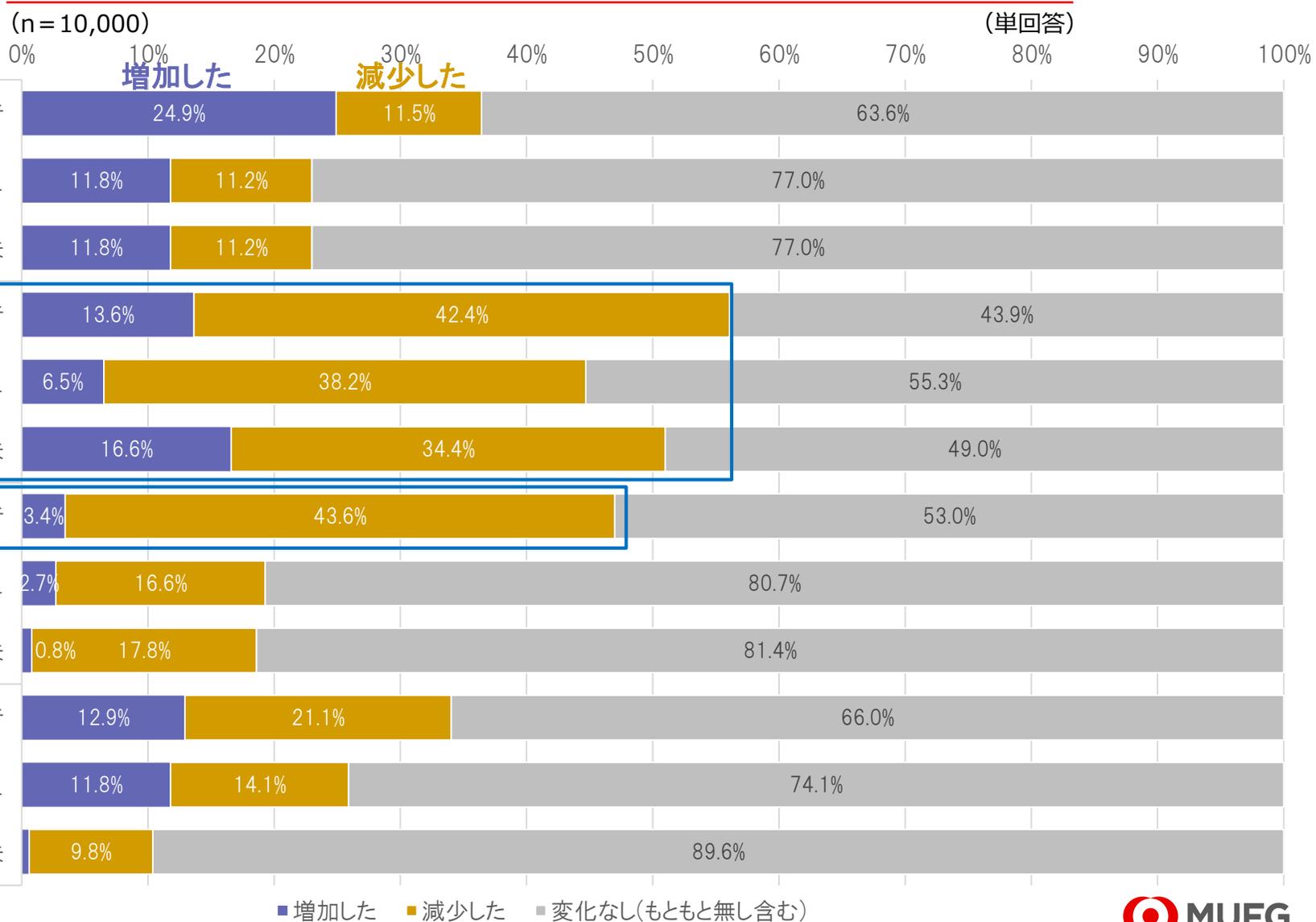
# 1. コロナ禍における行動変化

# 生活時間の使い方の変化①

“身の回りの用事・食事”や企業勤務者における“通勤・移動時間”は、コロナ禍により減少傾向。

## コロナ禍による生活時間の使い方の変化(1/2)

(回答者)全員(企業勤務者、公務員、専業主婦)

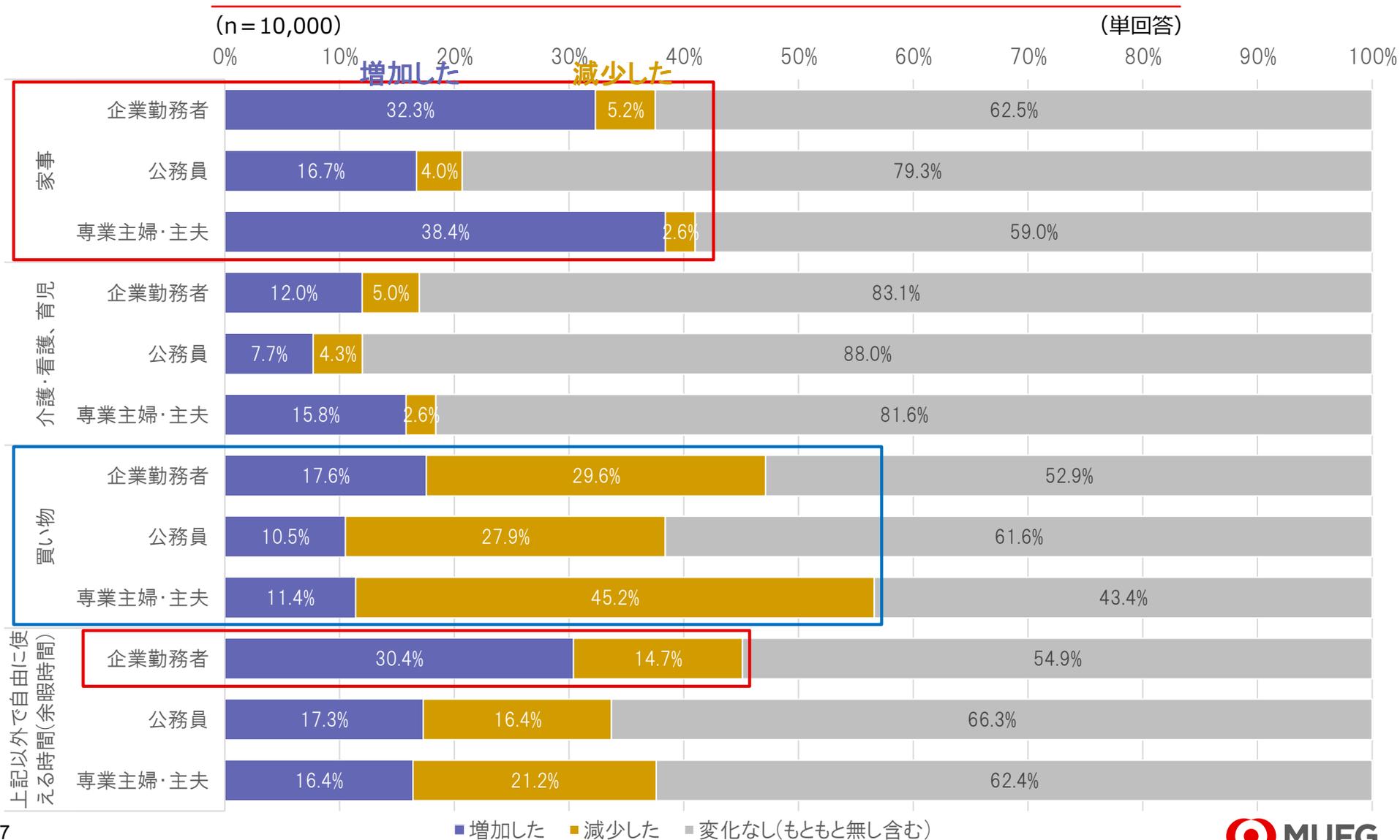


# 生活時間の使い方の変化②

“家事”は増加傾向、“買い物”は減少傾向。“余暇時間”は特に企業勤務者において増加。

## コロナ禍による生活時間の使い方の変化(2/2)

(回答者)全員(企業勤務者、公務員、専業主婦)



# 余暇時間の使い方の変化①

スポーツ観戦や外出が必要な活動が減少した一方、外出不要な活動が増加。

## コロナ禍による余暇時間の使い方の変化(1/2)

(回答者)全員(企業勤務者、公務員、専業主婦)

(n=10,000)

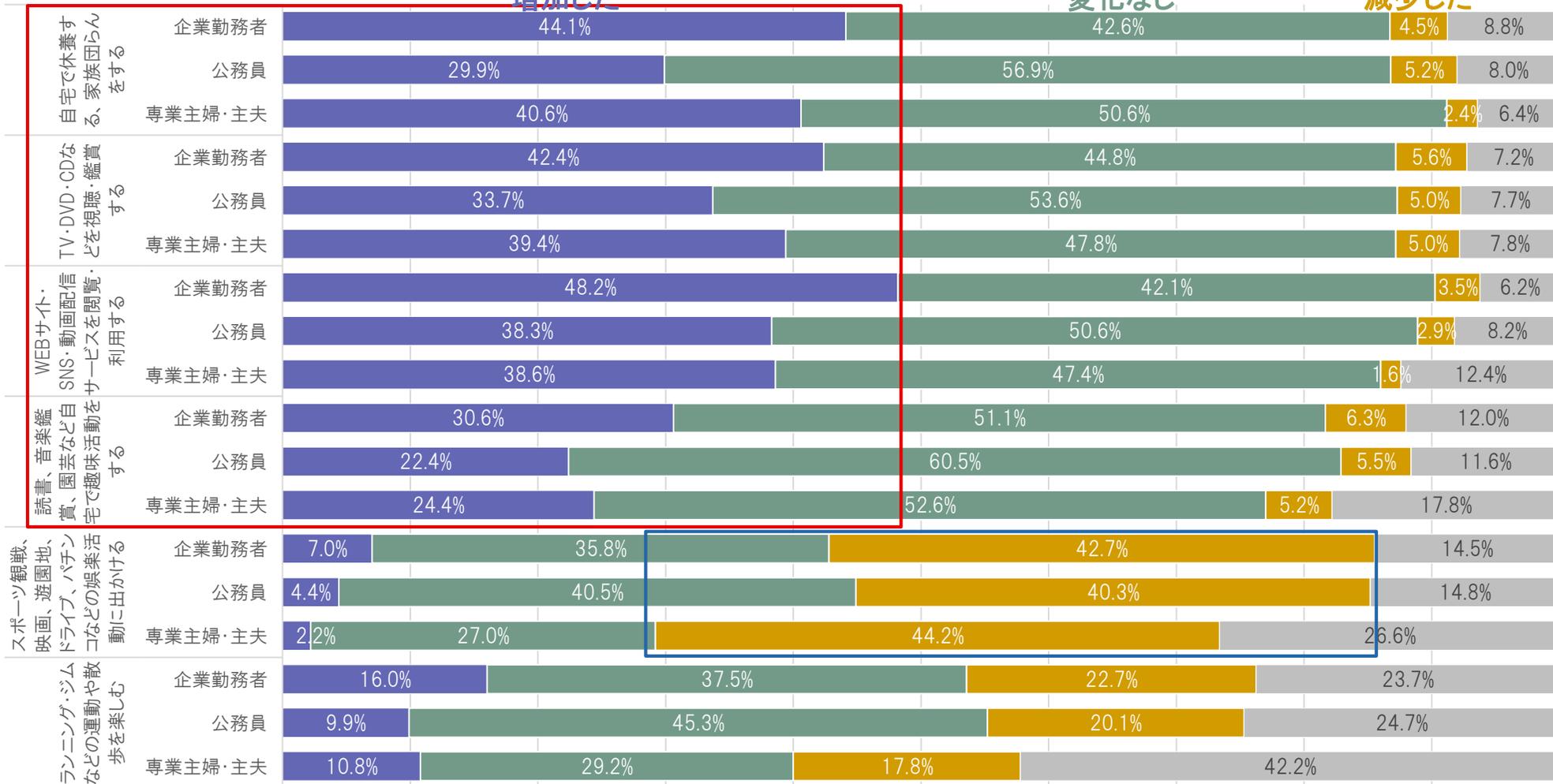
(単回答)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

増加した

変化なし

減少した

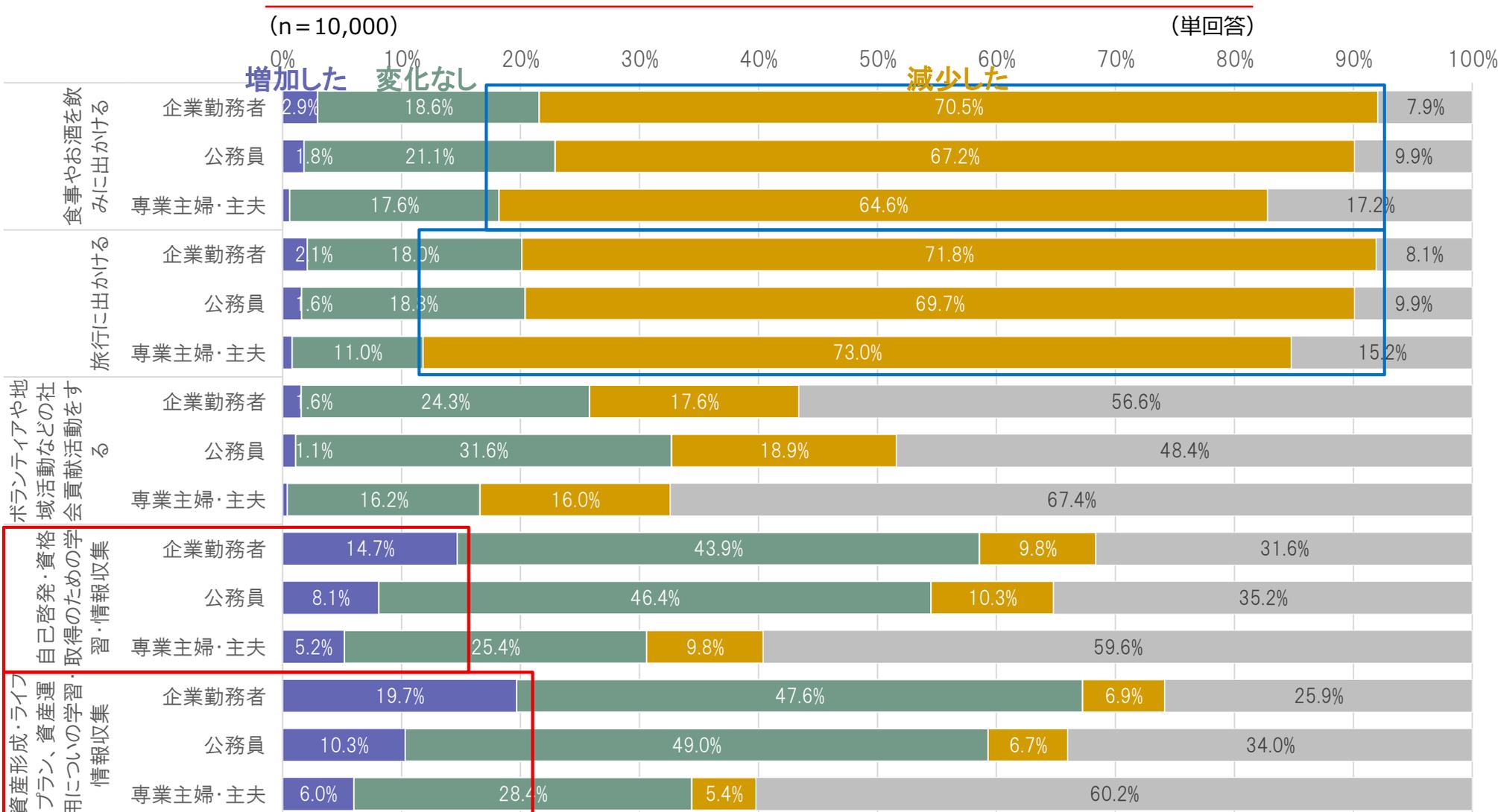


# 余暇時間の使い方の変化②

“自己啓発” “資産運用等”に関する学習・情報収集は、企業勤務者において増加した人の割合が相対的に高い。

## コロナ禍による余暇時間の使い方の変化(2/2)

(回答者)全員(企業勤務者、公務員、専業主婦)



■ 増加した ■ 変化なし ■ 減少した ■ もともとなし(現在もなし)

# 学習・情報収集の方法

“自己啓発” “資産運用等”共に、書籍やWEBサイト、SNSで情報収集する人が多い。

## “自己啓発”の学習・情報収集方法

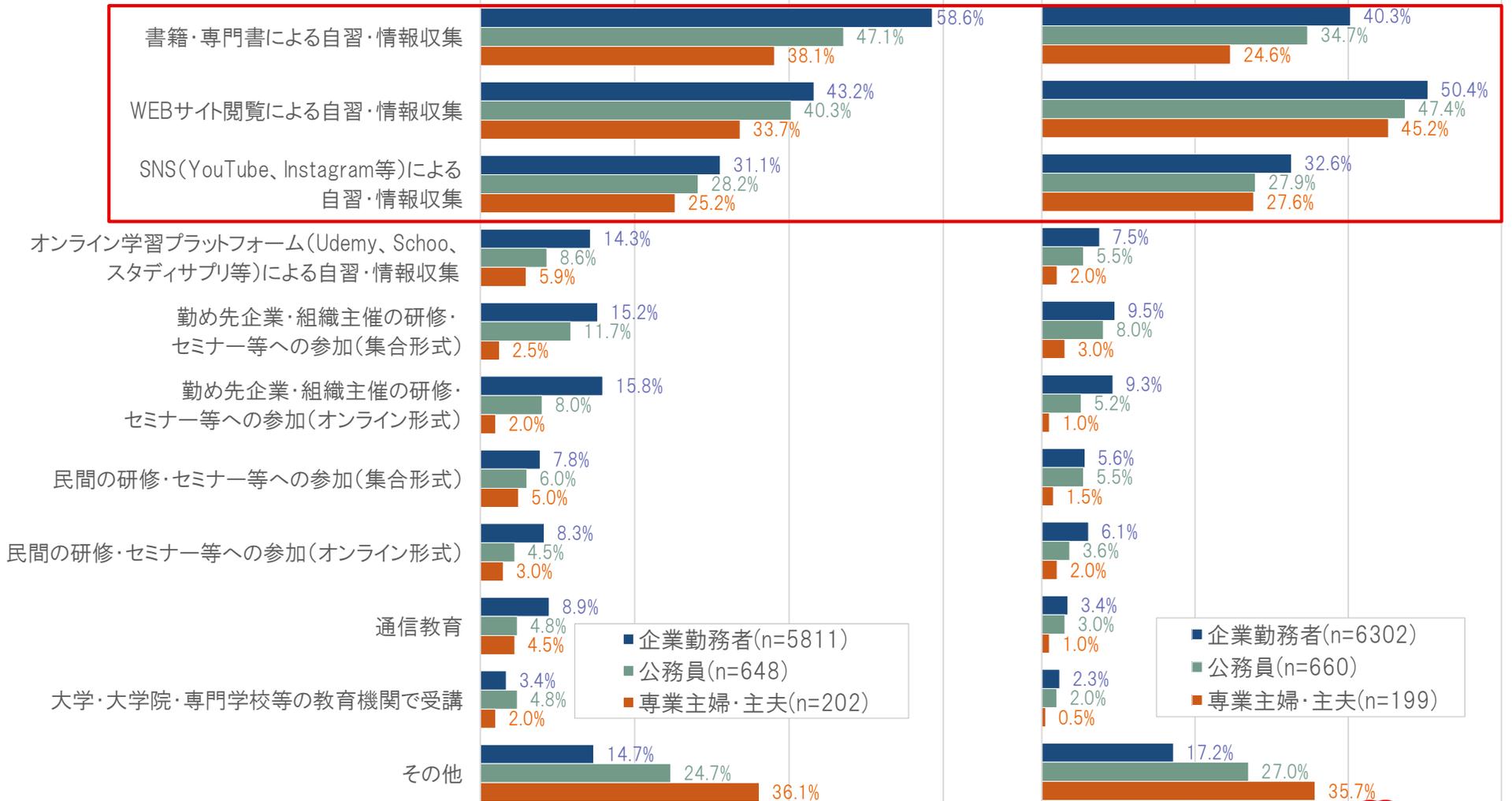
(回答者)“自己啓発・資格取得のための学習・情報収集”を実施している人

(n=6,661) (複数回答) 0% 20% 40% 60%

## “資産運用等”の学習・情報収集方法

(回答者)“資産形成・ライフプラン、資産運用についての学習・情報収集”を実施している人

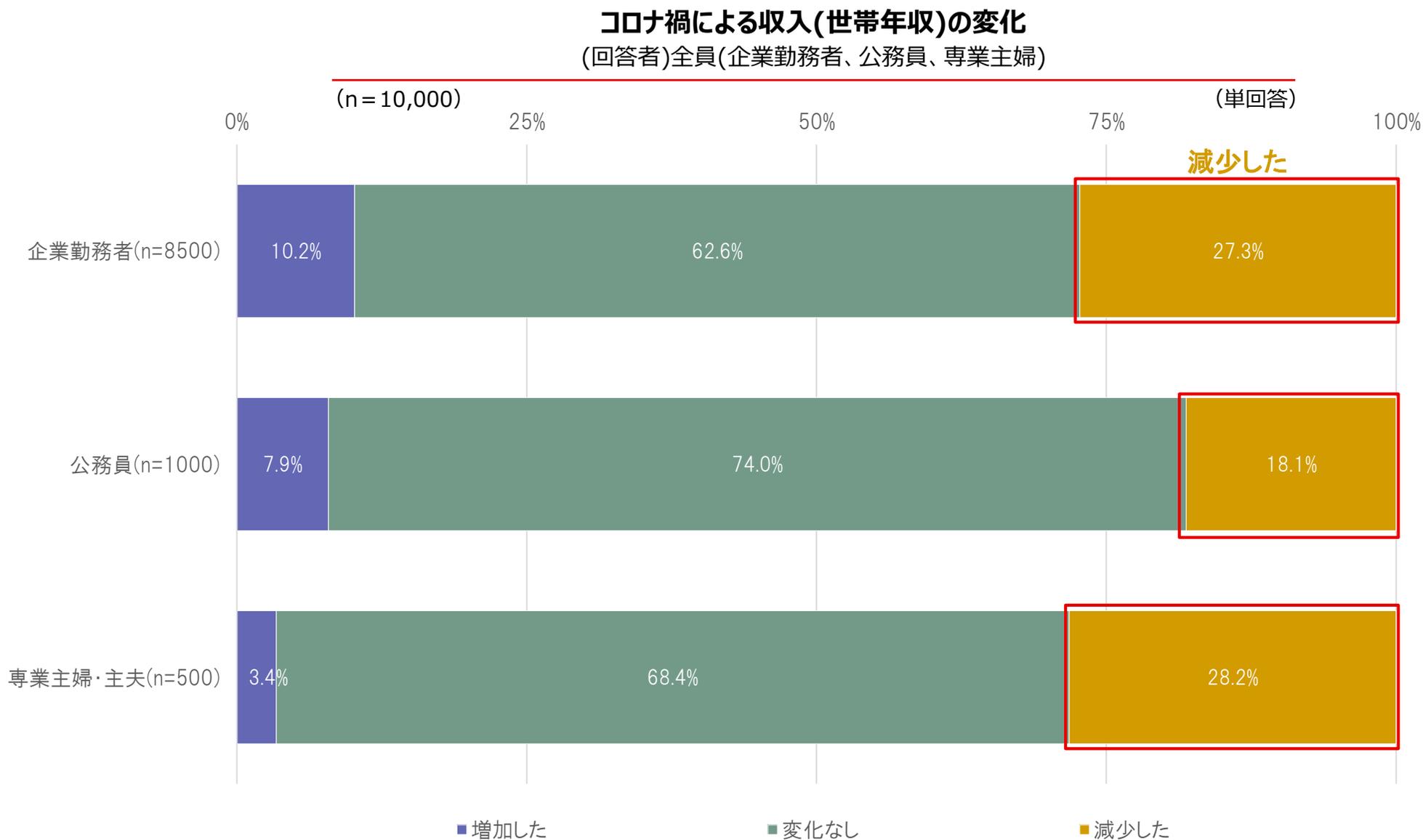
(n=7,161) (複数回答) 0% 20% 40% 60%



## 2. コロナ禍における収入の変化と投資状況

# 収入の変化

約2～3割が、コロナ禍により世帯収入が減少したと回答。

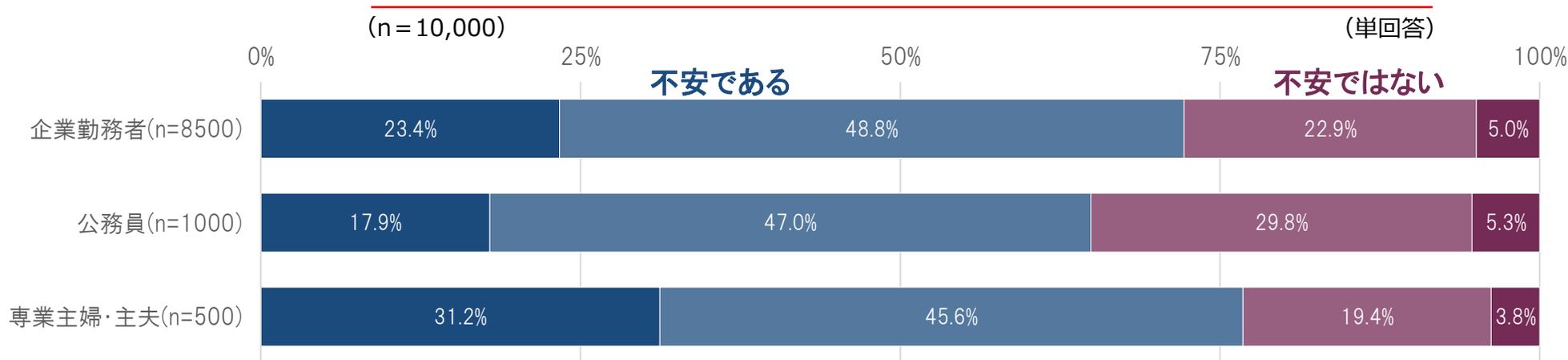


# 不安の状況

経済面・金銭面においては、7割前後の人が「不安」と回答。  
雇用面においても、公務員以外では過半数が不安を感じているとの結果になった。

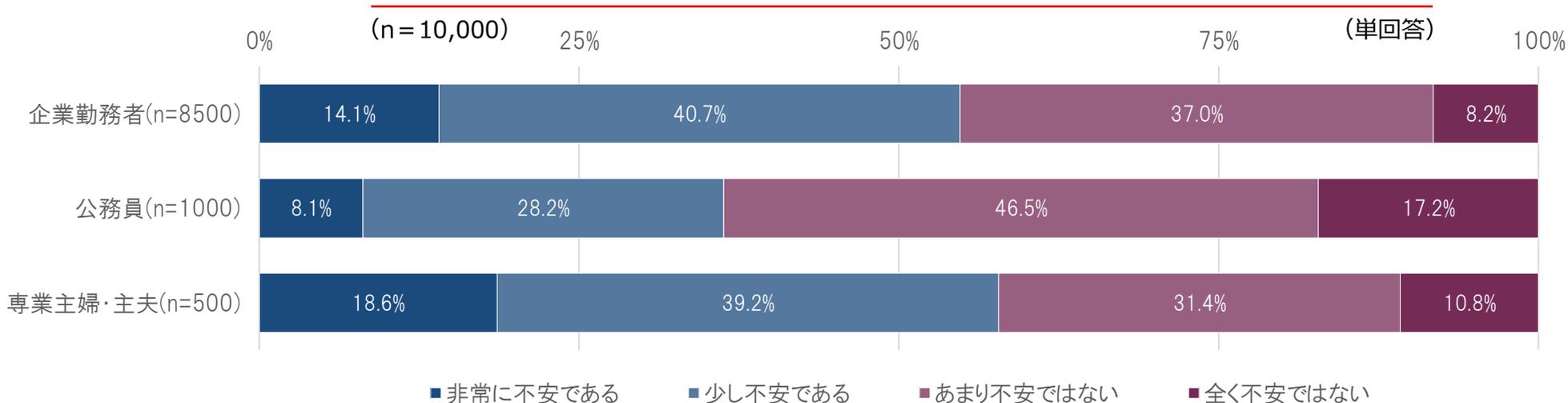
## 経済面・金銭面の不安

(回答者)全員(企業勤務者、公務員、専業主婦)



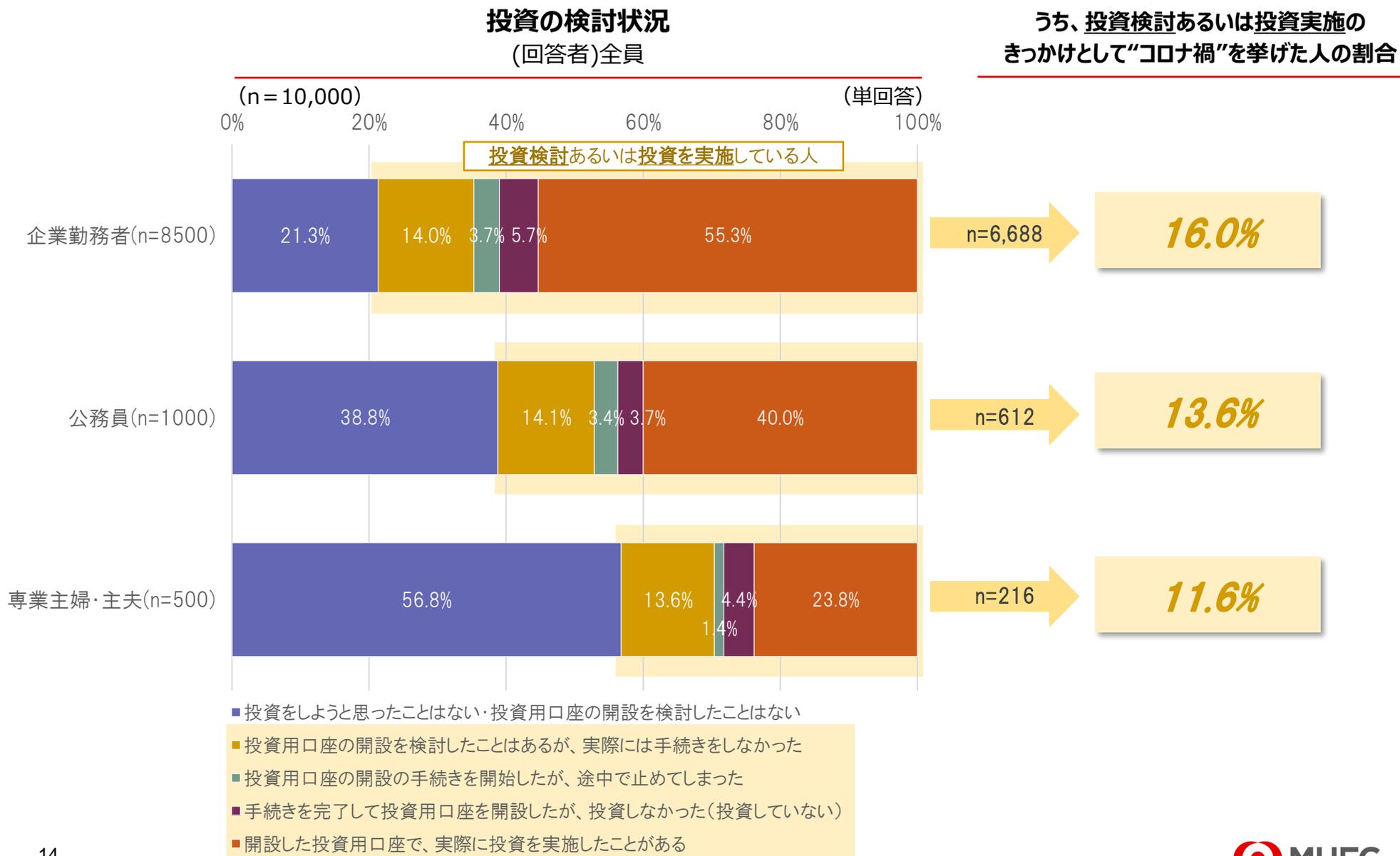
## 就業・雇用の不安

(回答者)全員(企業勤務者、公務員、専業主婦)



# 投資の状況とコロナ禍の影響

投資検討あるいは実施をしている人のうち、そのきっかけとして“コロナ禍”を挙げた人が1割半ば前後存在する。

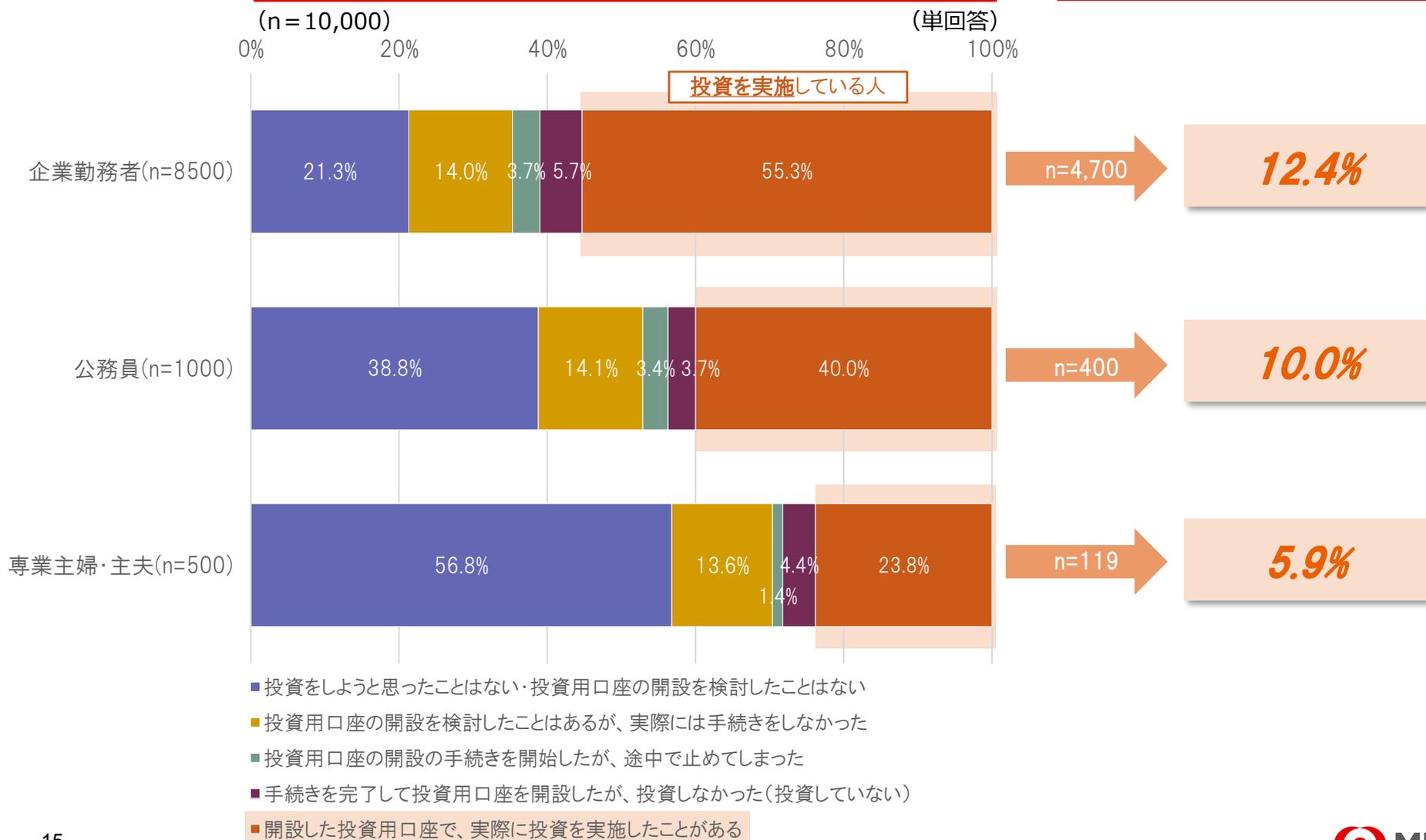


# (ご参考) 投資実施とコロナ禍の影響

実際に投資を開始したきっかけとして“コロナ禍”を挙げた人も1割前後存在する。

【前頁再掲】投資の検討状況  
(回答者)全員

うち、投資実施の  
きっかけとして“コロナ禍”を挙げた人の割合



# ご留意事項

- MUFG資産形成研究所は、三菱UFJ信託銀行が、現役世代から退職後の世代までを対象に資産形成・資産運用に関する調査・研究等の活動を行う際の呼称です。
- 本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品の取得・勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に掲載の情報は作成時点のものです。また、本資料は三菱UFJ信託銀行が各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性について保証するものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、三菱UFJ信託銀行は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は三菱UFJ信託銀行の著作物であり、著作権法により保護されております。本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、三菱UFJ信託銀行までご連絡ください。

本資料に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行 資産形成推進部  
E-mail : [mufg-sisan\\_post@tr.mufg.jp](mailto:mufg-sisan_post@tr.mufg.jp)

三菱UFJ信託銀行株式会社 資産形成推進部  
〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

[www.tr.mufg.jp/shisan-ken/](http://www.tr.mufg.jp/shisan-ken/)

MUFG資産形成研究所は、三菱UFJ信託銀行が資産形成・資産運用に関する調査・研究等の活動を対外的に行う際の呼称です。